



## 能登半島地震救援金



知り合いの自宅があった火災現場を訪れてぼうぜんとして立ち尽くす女性＝石川県輪島市で2024年1月3日午後、長谷川直亮撮影

2024年元旦、最大震度7を記録した能登半島地震が発生しました。死者244人、住宅被害は7万5,400棟余りに達し、3カ月たっても8,000人以上が避難生活を送るなど、生活再建の遅れが目立ちます。

毎日新聞社と毎日新聞大阪・東京・西部社会事業団は1月5日に被災者救援金の受け付けを始めました。3月末までに約1億2,000万円が寄せられ、石川県、輪島市、珠洲市、七尾市の被災県市と日本赤十字社に順次送っています。選抜高校野球大会の期間中、阪神甲子園球場の近くでも大会主催者が募金活動を行い、集まった全額の216万3,394円は本団を通じ同県に届けました。

### トルコ・シリア地震救援金

2023年2月6日、トルコ南部を震源とする巨大地震が発生しました。2月10日から救援金を受け付け9月8日までに5団体に2,300万円を贈呈しました。

- AMDA
- CODE海外災害援助市民センター
- 国境なき医師団日本
- 難民を助ける会 (AAR Japan)
- 国連UNHCR協会



## 「小児がん征圧募金」 13団体に贈呈

毎日新聞社と毎日新聞大阪社会事業団の「生きる 小児がん征圧キャンペーン」で寄せられた「小児がん征圧募金」を贈られた団体の集いが2024年3月12日、大阪市北区の毎日新聞大阪本社で開かれました。同募金は小児がんの患者や家族の支援、研究に取り組む団体などに毎年配分しています。23年度は大阪、京都、兵庫、愛知、三重の13団体に各65万円、総額845万円が贈られ、集いには10団体の代表者らが参加しました＝写真。これまでの贈呈総額は1億45万円となりました（毎日新聞大阪・東京・西部社会事業団の合計では4億2,700万円）。



## 配食サービス車贈呈事業 神戸市の NPO法人「インクルひろば」に贈呈

神戸市北区の特定非営利活動法人「インクルひろば」に2023年9月28日、配食サービス車1台を寄贈しました。贈呈事業は99年から始まり、今回で37台目となりました＝写真。



## 施設を出て就職する生徒75人に 「就職祝い金」を贈呈

大阪府内の児童福祉施設を巣立つ生徒を対象にした「自立生活技術講習会」（大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部主催、本団など後援）の閉講式が2024年2月4日、大阪市天王寺区のシェラトン都ホテル大阪で開かれました。企業や弁護士などの協力で、ビジネスマナー、身近な法律、話し方などを昨年7月から14回にわたって学んできました。

本団は、閉講式と同時開催の主催事業として、就職予定者75人に1人1万円の「就職祝い金」を贈りました。

## 世界子ども救援金6団体に贈呈

世界子ども救援金から「パレスチナ難民緊急助成」「継続助成」「公募助成」の3つの助成を行い、総額220万円を贈呈しました。毎日新聞社と毎日新聞大阪・東京・西部社会事業団が海外飢餓・難民救援キャンペーンを始めた1979年以来、これまでに贈呈した救援金は17億1,988万8,344円になりました。

### ●「パレスチナ難民緊急助成」1団体に100万円を贈呈

- ・ 国境なき医師団日本

### ●「継続助成」1団体に40万円を贈呈

- ・ 難民を助ける会 (AAR Japan)

### ●「公募助成」4団体に80万円を贈呈

- ・ Inna Project
- ・ CLOUDY
- ・ Piece of Syria
- ・ ネパール震災プリタム実行委員会

## 🌸 第53回毎日社会福祉顕彰

福祉の向上に優れた功績をあげた個人、団体を表彰する「第53回毎日社会福祉顕彰」(毎日新聞大阪・東京・西部社会事業団主催、厚生労働省、全国社会福祉協議会後援)は、2023年8月2日、厚労省の代表や大学教授などからなる審査会を行い、認定NPO法人横浜移動サービス協議会(横浜市中区:山野上啓子副理事長・写真左、服部一弘理事長・同左から2番目)、認定NPO法人愛美の会<sup>あみ</sup> 人形劇団紙風船(名古屋市港区:石川裕右さん、同左から3番目)、阪神高齢者・障がい者支援ネットワーク(神戸市兵庫区:宇都幸子代表・同右)の3件が選出されました。10月31日、東京で贈呈式が開かれ賞金(100万円)目録と賞牌が手渡されました。



## 🌸 公募助成金17団体に贈呈

国内外の地域で福祉活動に取り組む団体や先駆的事業展開する団体などから一般公募で申請を受け付け、2024年2月2日に有識者による選考委員会を開き、次の17団体に総額365万円を贈呈しました。

### 〈公募福祉助成金〉

LFA食物アレルギーと共に生きる会(大阪府吹田市)▽大阪交通災害遺族会(大阪市中央区)▽MAMIE(同市北区)▽神戸いのちの電話(神戸市中央区)

### 〈高齢者福祉特別枠〉

認知症予防サポートネット(兵庫県西宮市)▽パソコンボランティアWing(堺市堺区)▽morimoto音楽堂(大阪府和泉市)▽Bella Muse(兵庫県姫路市)

### 〈児童福祉特別枠〉

紙ひこうき(大阪市天王寺区)▽平野区みんな食堂ネットワーク(同市平野区)▽ふらいおん(同市淀川区)▽米とわたしと合同会社(神戸市東灘区)

### 〈シンシア基金助成〉

日本介助犬協会(愛知県長久手市)

### 〈世界子ども救援金助成〉

※詳細は2面下段をご参照ください

## 🌸 全国盲学校弁論大会開催

第91回全国盲学校弁論大会全国大会(全国盲学校長会、毎日新聞社点字毎日、毎日新聞大阪・東京・西部社会事業団主催)が2023年10月6日、秋田市の秋田県立視覚支援学校で開かれました。全国7地区の代表9人が出場し、「無意識の壁」と題して発表した大阪府立大阪南視覚支援学校高等部普通科2年、酒井響希(17)さんが優勝しました。

## 🌸 コロナ対策医療支援金

医療従事者を広範に支援するため「コロナ対策医療支援金」の募集を2020年5月4日から開始し、23年5月で支援金の募集を締め切りました。5月8日に第7次贈呈分53万円を大阪府看護協会へ寄託しました。20年から13府県と看護協会に支援金を寄託、贈呈総額は5,153万円となりました。

## ◆ トリビア ① 初のテレビせり市 ◆

「歳末福祉運動」(現在の歳末たすけあい運動)の一環として、1960年から15年間、「歳末たすけあい市」を開催しました。毎日放送などとの共催で、企業や著名人から寄贈された物品の一部はテレビを通じてせり市にかけ、日本初の試みとして注目を集めました。時代劇スター・長谷川一夫さんのマフラーや南海ホークス・杉浦茂投手の背広なども出品されました。



## 毎日希望奨学金

絵と題字・西原理恵子さん

「毎日希望奨学金」4,524万円を給付

東日本大震災で保護者を亡くした震災遺児の学業を支援する「毎日希望奨学金」(毎日新聞大阪・東京・西部社会事業団、毎日新聞社で創設)は、2023年3月14日付朝刊で「奨学生募集」の社告を掲載しました。5月17日に奨学生選考委員会が開かれ59人に新規の給付が決定しました。継続者と合わせた奨学生は189人。9月に辞退者が1人あり、最終数は188人となり合計4,524万円を支給しました。11年度からの総支給額は6億2,232万円となりました。

## 遺児ボウリング大会開く

「第30回そよかぜ杯ボウリング大会」が2023年6月18日、大阪市中央区の心斎橋サンボウルで開かれました＝写真。「大阪交通遺児を励ます会」(青木勝代表)と本団の共催で心斎橋サンボウルが協力しました。交通事故などで親を失った子どもとその家族らを招待して92年から開いており、今年は近畿地方在住の約80人が参加しました。



### ご寄付の方法

事業団の活動は皆さまからのご寄付で成り立っています。クレジットカードもお使いいただけます。スマートフォンなどでQRコードを読み取り、専用サイトでカード番号などの情報を入力してください。領収証の発行はできませんのでご注意ください。

#### ◆郵便振替は以下へ

①下記ア～クのご希望の使途②領収証をご希望の方は「領収証希望」③お名前などの新聞掲載をご希望の方は「掲載希望」と明記してください。

#### 【郵便振替】

口座番号:00970-9-12891

加入者名:公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団



ア. 社会福祉のための募金  
(一般的な募金)



イ. 小児がん征圧募金



ウ. シンシア基金



エ. 毎日希望奨学金



オ. 母の日・父の日募金  
(4～8月)



カ. 世界子ども救援金・海外難民救援金



キ. 能登半島地震救援金



ク. 歳末たすけあい義援金  
(11～12月)

## トリビア

②

### 病院船で巡回診療

事業団の最初の事業は大阪市内の低所得者層を対象にした無料巡回診療で、1911年10月に始まりました。21年からは「病院船」に医師らを乗せ、水運を使って各地を回り、日中戦争で事業を終えるまでの約30年間に延べ百数十万人を診察しました。

## 編集後記 57

- ◆能登半島地震が襲った石川県珠洲市や輪島市の65歳以上人口の割合は50%前後に達していました。未曾有の災害は、高齢化した地域の防災や復興の難しさを浮き彫りにしました。
- ◆しかしこの問題は今後、大都市圏でも深刻になるとみられます。国によると、高齢者人口は都市の規模が大きいほど増加し、小規模の都市では逆に減少に転じているからです。
- ◆大阪や東京などでは既に、高齢者の4人に1人が一人暮らしをしています。高齢率が高い集合住宅も珍しくなくなりました。必ず来るその日ために、能登半島地震から何を学びどう生かすのか。私たちに等しく突きつけられている課題です。(森)